

=創立100年記念=

第56回

# 貞香書展

2022.6.29水～7.11月

(7.5日は休館日)

国立新美術館 3A 港区六本木

10:00～18:00(入場は17:30まで) 最終日は15:00閉館(入場は14:00まで)  
〈入場無料〉 ご高覧いただけると幸いです。

主催・貞香会

会長 赤平泰処  
理事長 光谷素仙

後援・毎日新聞社  
(一財)毎日書道会  
(公社)全日本書道連盟

貞香会事務所

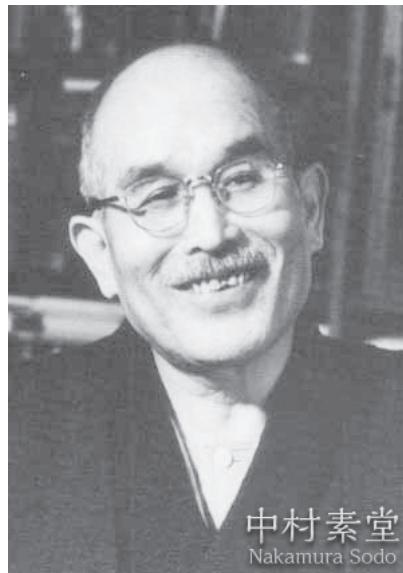
〒135-0007  
東京都江東区新大橋  
1-5-4-211 根本方  
TEL 03(6284)0466  
FAX 03(6284)0467

## 貞香会とは

貞香会は、大正12年（1923）に書文化の研究と、書芸術の創造を目指して中村素堂が創立し、今年で100年を迎えました。この間、北京・中国美術館（1999・2005年）、台北・国立歴史博物館（1991年）等での海外展も開催してまいりました。毎年、貞香書展・貞香会総合書展を開催し、また、毎日書道展、東方書展にも参画しております。

## 創設者

中村素堂（1901-1982）は、静岡県に生まれ、15歳で西川春洞の高弟・武田霞洞に師事しました。日本書道美術院、毎日書道展、東方書展の創設に参画し、書壇の再建に努めた近代日本を代表する書作家で、歌人でもあります。その書風は硬質の書を信条として、新文人主義、仏教を根底に置いた書を発表してまいりました。大正大学名誉教授で、武蔵大学をはじめ多くの教壇に立ち、後進の育成、書教育の普及にも邁進しました。また、生涯を通じて蒐集した古今の墨蹟・絵画・古写経をはじめとする系統だった書の研究資料は、後進の研究者のために一括して江戸東京博物館に収蔵されています。



## 第56回貞香書展入賞者

中村素堂記念賞	鈴木 蓮徑					
特別賞・審査会員推挙	浦野 西萌	日向野光苑				
推薦・会員推挙	青木 香蕗	江原 覚堂	柿沼 陽和	北井 杏怜	原田 豊蘭	

### 公募1部

#### ■特選

漢字多字数部門	奈良田有亮	佐藤 穂徑	奥備 愛	長瀬 亮一		
---------	-------	-------	------	-------	--	--

#### ■準特選

漢字多字数部門	奈良田圭亮	吉田 幸代	小山真裕美	藤原 櫻泉	伊藤ゆうか	
	星野 玲香	小山 綾香				

漢字少字数部門	川本 桃子					
---------	-------	--	--	--	--	--

#### ■秀作

漢字多字数部門	鶴見 侑樹	武澤 朱里	原 美鈴	大河内秀丸	曾根 濤青	
	荒井 良雄	押山 優菜	中東 敬子	塩濱 花菜	浅野 照雄	
	内山 富美	松本 芳琇	岡 聖紅	田杭 敬心	滋野 綾菜	

漢字少字数部門	高木 快道	大塚可南子				
---------	-------	-------	--	--	--	--

#### ■高校生奨励賞

漢字多字数部門	上野 心優	泉田 紗音	渡邊 智香	伊澤 心		
---------	-------	-------	-------	------	--	--

漢字少字数部門	伊澤 凜	上野 優羽	篠崎 夢奈			
---------	------	-------	-------	--	--	--

### 公募2部

#### ■特選

漢字多字数部門	山口 和彦					
---------	-------	--	--	--	--	--

漢字少字数部門	松田 庄平	中上 和美				
---------	-------	-------	--	--	--	--

仮名部門	小仲佳代子					
------	-------	--	--	--	--	--

#### ■準特選

漢字多字数部門	大澤 太郎	瀧澤 理子	山中 恵理	小滝 洋一	市村 星華	
---------	-------	-------	-------	-------	-------	--

漢字少字数部門	吉岡 紀子	斎藤 龍生	芳賀 姫佳			
---------	-------	-------	-------	--	--	--

#### ■秀作

漢字多字数部門	高橋英美子					
---------	-------	--	--	--	--	--

漢字少字数部門	芳田 晏奈	梅澤 恵子	山崎 遥	石井佳奈芽	椎名 祥山	
---------	-------	-------	------	-------	-------	--

遠藤真佐美	伊草かおり	藤咲 忠央	渡邊 彩華	浜野 果保		
萩原 栄花	角田 真理	竹田 瞳子	飯島 章子			

詩文書部門	宮川万理子					
-------	-------	--	--	--	--	--

#### ■高校生奨励賞

漢字多字数部門	門脇 花					
---------	------	--	--	--	--	--

漢字少字数部門	栗栖 穂香					
---------	-------	--	--	--	--	--

# 第56回貞香書展出品者

## 特別展示

### 中村素堂先生遺墨展

- 「祭墨」(1980年作)  
畫禪室隨筆 (1963年作)  
「紅塵飛碧海」(1966年作)  
儲巵句 (1966年作)  
列仙傳より (1966年作)  
佐久間象山句 (1969年作)  
西域幻想 (「ふぢばかま」より) (1970年作)  
「雙鎧燐々」(1974年作)  
碧巖錄後序 (1974年作)  
了庵清欲禪師偈 (1975年作)  
松尾芭蕉句文 (1976年作)

### 遺墨

平林 大舒 啄木のうた

### 会長

審 赤平 泰処 [東京] 中村素堂詩

### 顧問

審 荒木 大樹 [東京] 論語句

中村 青藍 [埼玉] 李白詩

審 中村 素岳 [埼玉] 朱方藹句

### 参与

奥山 泰嶺 [埼玉] 中尊寺梵鐘銘一節

後藤 鶴台 [山形] 「百福相莊嚴」

審 中谷 春徑 [東京] 和歌一首

畫間 欽堂 [東京] 「執虎」

審 松本 宜響 [栃木] 「清淨光」

審 若井 香樹 [東京] 筆の念佛一節

### 参事

柏木 南城 [東京] 「壺中日月長」

加茂 泰玄 [栃木] 耶律楚材句

中村 大如 [神奈川] 蘇舜欽詩

中村 東泉 [千葉] 王敞詩

審 二木 秀蔭 [埼玉] 廣瀬淡窗詩

審 山根 紅樹 [東京] 張若虛詩

## 理事長

審 光谷 素仙 [神奈川] 劉汲詩

## 副理事長

坪内 雪山 [新潟] 杜子美詩

根本 泰邱 [千葉] 高青邱詩  
(事務局長兼任)

## 事務局次長

鈴木 蓮徑 [栃木] 「眼處聞聲」

## 理事

審 飯野 彩心 [栃木] 蘇軾詩

審 今井 泰篁 [東京] 「雲中白鶴」

海野 蒼秀 [埼玉] 趙延壽詩

審 後上 菲華 [埼玉] 陸游詩

高木 素近 [東京] 陶淵明詩

審 高橋 珠翠 [東京] 陶淵明詩

永井 静軒 [埼玉] 耕雲句

中村 香柯 [埼玉] 「塵外孤標 雲間獨步」

浜瀬 碧水 [東京] 蘇東坡詞一節

審 半田 桃香 [静岡] 高駢詩

審 三浦 看山 [神奈川] 蘇軾詩

## 監事

審 飯野 柳仙 [埼玉] 王維詩

長尾 泰邨 [青森] 「尋源培根」

## 評議員

秋田谷岱空 [千葉] 陸游詩

審 石原 翠山 [東京] 吳融詩

審 加地 香泉 [東京] 白樂天詩二首

## 審査会員

五野 雪香 [東京] 山村暮鳥詩

岩崎 芳穂 [茨城] 華幼武詩

岩田 映洞 [埼玉] 缶翁題画詩

岩渕 響泉 [栃木] 千字文一節

上野 泰饒 [埼玉] 「獻壽盃」

大塚 澄心 [埼玉] 岳飛詩

沖 素宮 [埼玉] 周世文詩

小澤 茜逕 [東京] 「柔和忍辱」

龜和田郁芳 [栃木] 「三省吾身」

川島	栖園	[埼玉]	李商隱詩	白根	如雪	[東京]	中原中也詩	
倉石	芳園	[埼玉]	劉祁詩	鈴木	芳草	[埼玉]	白樂天詩	
小峰	紀州	[千葉]	正	鈴木	玲香	[千葉]	岑參詩	
近藤	朗詠	[埼玉]	半淶詩	関根	熙雲	[群馬]	楊榮詩	
酒井	芳華	[岐阜]	趙介詩	高橋	桂仙	[埼玉]	李頤詩	
佐藤	光華	[埼玉]	三好達治詩	富田	希	[長崎]	沈佺期詩	
杉戸	泰岳	[埼玉]	錢起詩	長尾	貫清	[青森]	李白詩	
鈴木	大嘉	[新潟]	「漱露」	中島	翠音	[静岡]	陸游詩	
関野	松如	[東京]	良寬のうた	根本	柏暢	[東京]	杜審言詩	
武内	陽華	[埼玉]	宮川秀之詩	日向野光苑		[千葉]	自詠句	
津田	貞巖	[埼玉]	「曲肱之楽」	室田	彩翠	[東京]	自詠詩	
富田	青軒	[千葉]	陸游詩	山崎	香彩	[埼玉]	万楚詩	
中田	翠苑	[千葉]	杜甫詩	横張	瑞泉	[茨城]	瞿佑詩	
中濱	瑞花	[埼玉]	和歌一首	渡邊	芳香	[埼玉]	王維詩	
審	中村	汀華	[埼玉]	劉顯傳句	<b>委嘱</b>			
	林	澄翠	[埼玉]	李白詩	青木	香蘿	[東京]	杜甫詩
	平澤	大廣	[栃木]	張說詩	池ヶ谷	慧香	[静岡]	杜甫詩
	藤田	彩緒	[埼玉]	山村暮鳥詩	池田	詠香	[埼玉]	自詠
	細田	香瑤	[千葉]	輝格詩	池田	紀子	[栃木]	杜甫詩
	三上	大岑	[島根]	「則天去私」	今井	文子	[栃木]	臨重之集
	三石	貞紅	[茨城]	良寬の歌	上杉	香莊	[東京]	宗之間詩
	光田	秀穂	[埼玉]	山上憶良のうた	江藤	靜蘭	[東京]	李白詩
	矢口	昌華	[千葉]	岑參詩	江原	覺堂	[東京]	藤原道長詩
	渡辺	蒼秀	[神奈川]	陶淵明詩	大島	翠玲	[東京]	秦韜玉詩
<b>会員</b>								
阿部	泰悠	[東京]	朱慶餘詩	柿沼	陽和	[埼玉]	李白詩	
石山	心茜	[埼玉]	高啓詩一節	川端	正廣	[東京]	孟浩然詩	
上坂	木蘭	[東京]	梅堯臣詩	北井	杏怜	[東京]	韓愈詩	
浦野	西萌	[埼玉]	杜甫詩	越川	淑泉	[千葉]	賈島詩	
海老原綵翊		[埼玉]	三好達治の詩	佐藤	史帆	[静岡]	杜甫詩	
大芦	卿雲	[埼玉]	魏野詩	塩野	洋子	[栃木]	七言二句	
大石	碧堂	[静岡]	賈曾詩	志太	恵佳	[千葉]	和漢朗詠集より	
金子多恵子		[神奈川]	蘇軾詩	篠原	翠峰	[東京]	陶淵明詩一節	
草間	篁山	[新潟]	杜甫詩	清水	天悠	[栃木]	「寂滅為樂」	
佐伯	麗子	[東京]	佐伯静子の歌四首	鈴木	英男	[栃木]	「福祿無不穀…」	
佐藤	觀雨	[東京]	杜牧詩	関口	恵子	[群馬]	杜甫詩	
佐怒賀昌琴		[埼玉]	自詠句	田辺	由美	[神奈川]	韓愈詩	
下川	翠雨	[東京]	甘瑾詩	塚山	清峰	[埼玉]	孫萬壽詩	
				土屋	秀樹	[千葉]	杜甫詩	

壱井 翠櫻 [東京] 杜甫詩  
 中村 吟有 [千葉] 和歌三首  
 根布谷翠紅 [東京] 白居易詩  
 野村 佳鈴 [千葉] 何紹基詩  
 林 玉凜 [東京] 韓退之詩  
 原田 豊蘭 [東京] 牧水の歌三首  
 飛田 静風 [千葉] 王維詩  
 保坂 登志 [栃木] 王昌齡詩  
 益本 雪華 [東京] 益本恒夫の句  
 松下 彩虹 [東京] 蘇東坡詩一節  
 峯岸 妙觀 [東京] 杜甫詩  
 村木 香風 [東京] 巍聖歌の歌  
 室井 佳鶴 [千葉] 和漢朗詠集より  
 和田 芳華 [栃木] 「驚濤拍岸」  
 渡邊 萌苑 [東京] 李白詩

#### 会友

浅野 照雄 [東京] 朱熹詩  
 牛村ひろみ [東京] 李白詩  
 岡 聖紅 [東京] 王維詩  
 川本 桃子 [栃木] 「時和筆暢」  
 高木 快道 [千葉] 七言二句  
 田杭 敬心 [千葉] 常建詩  
 鶴見 侑樹 [栃木] 杜甫詩  
 長瀬 亮一 [東京] 岑參詩  
 長畠 裕子 [東京] 蘇軾詩  
 奈良田有亮 [埼玉] 臨 曹全碑一節  
 藤原 櫻泉 [東京] 李白詩  
 邊見 順子 [埼玉] 李白詩  
 松野 澄水 [東京] 森鷗外詩  
 村山 順子 [埼玉] 陶潛詩  
 山本 惠翠 [千葉] 李白詩

#### 公募 I 部出品者

荒井 良雄 [東京] 蘇東坡詩一節  
 伊澤 心 [栃木] 杜甫詩  
 伊澤 凜 [栃木] 錢惟善詩  
 泉田 純音 [栃木] 高啓詩  
 伊藤ゆうか [埼玉] 陳子昂詩  
 上野 心優 [栃木] 林鴻詩  
 上野 優羽 [栃木] 黄山谷詩  
 内山 富美 [静岡] 杜審言詩  
 大木 珠芳 [千葉] 李白詩  
 大河内秀丸 [東京] 蘇東坡詩一節  
 大塚可南子 [栃木] 七言二句  
 奥備 愛 [栃木] 常建詩  
 押山 優菜 [栃木] 陸游詩  
 小山真裕美 [埼玉] 邵康節詩  
 菊地 孝男 [栃木] 臨 王羲之「十七帖」一節  
 木下 嘉人 [東京] 欧陽修詩  
 小泉 直子 [神奈川] 岑參詩  
 小山 綾香 [埼玉] 盧綸詩  
 佐藤 穂徑 [栃木] 趙孟頫詩  
 塩濱 花菜 [栃木] 陰鏗詩  
 滋野 綾菜 [栃木] 高啓詩  
 篠崎 夢奈 [栃木] 七言二句  
 曾根 濤青 [静岡] 王維詩  
 武澤 朱里 [栃木] 高啓詩  
 長田 晴海 [東京] 七言二句  
 中東 敬子 [埼玉] 岑參詩  
 奈良田圭亮 [千葉] 盧綸詩  
 根本 悠彩 [千葉] 王漁洋詩  
 原 美鈴 [神奈川] 王維詩  
 福田香朱美 [栃木] 馬中錫詩  
 星野 玲香 [東京] 岑參詩  
 松本 芳琇 [埼玉] 王維詩  
 水須 涼華 [千葉] 張說詩  
 山本 弓絵 [東京] 七言二句  
 吉田 幸代 [東京] 李邕詩  
 吉村 幸子 [埼玉] 真山民詩  
 渡邊 智香 [栃木] 王安石詩  
 渡邊 陽奈 [栃木] 李白詩

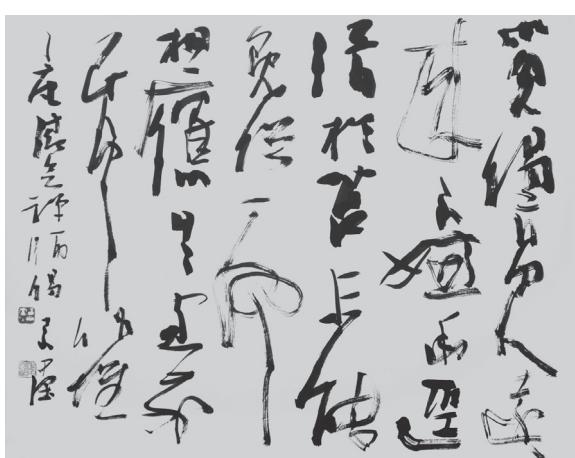
## 公募Ⅱ部出品者

荒木 弘文	[栃木]	臨 聖教序	三浦 康亮	[東京]	碧巖録より
飯島 章子	[東京]	陳安詩	宮川万理子	[東京]	梁塵秘抄より
伊草かおり	[埼玉]	高雲句	山口 和彦	[栃木]	臨 蘭亭叙
石井佳奈芽	[東京]	後漢書一句	山口 佑珠	[栃木]	白樂天詩
市村 星華	[栃木]	崔顥詩	山崎 遥	[東京]	菜根譚句
井山 佳奈	[東京]	陸放翁句	山中 恵理	[埼玉]	范成大詩
梅澤 恵子	[東京]	許斐句	山本 幸三	[東京]	李白詩
遠藤真佐美	[神奈川]	蘇軾句	吉岡 紀子	[神奈川]	梁潛詩
大澤 太郎	[東京]	杜牧詩	芳田 晏奈	[東京]	劉禹錫句
大島 信由	[千葉]	「清風入梧竹」	吉田 光陽	[栃木]	「高峰影裏坐陰涼」
門脇 花	[埼玉]	王安石詩	米山 聖	[神奈川]	五觀の偈
北畠 妃恵	[東京]	「獨坐大雄峰」	ロゼンクル朋子	[東京]	芭蕉句
栗栖 穂香	[千葉]	賈島詩	渡邊 彩華	[東京]	項斯詩
小滝 洋一	[栃木]	杜甫詩			
後藤久美恵	[神奈川]	臨 争坐位文稿一節			
小仲佳代子	[東京]	自詠三首			
近藤 涼也	[埼玉]	金章宗詩			
斎藤 節子	[東京]	「明鏡止水」			
斎藤 龍生	[群馬]	「翰墨伴清閑」			
椎名 祥山	[千葉]	史蕭詩			
鈴木 翠鴻	[千葉]	李白詩			
鈴木 宏宗	[東京]	七言二句			
田尾紗奈江	[東京]	芭蕉句			
高橋英美子	[東京]	惲格詩			
高濱 夏彩	[東京]	河野裕子短歌			
瀧澤 理子	[埼玉]	李白詩			
竹田 瞳子	[神奈川]	蘇軾句			
角田 眞理	[東京]	王之渙詩			
戸崎 勝彦	[栃木]	好在詩二句			
中上 和美	[東京]	蘇廻詩			
西田 咲	[埼玉]	權中納言匡房の歌			
野口佐和子	[東京]	李日華詩			
芳賀 姫佳	[東京]	李白詩			
萩原 栄花	[千葉]	施閏章詩			
長谷川澄苑	[東京]	孟浩然詩			
浜野 果保	[埼玉]	「朧月夜」			
藤咲 忠央	[栃木]	清露懸二句			
松田 庄平	[埼玉]	文点詩			

会長 赤平泰処

顧問 中村素岳

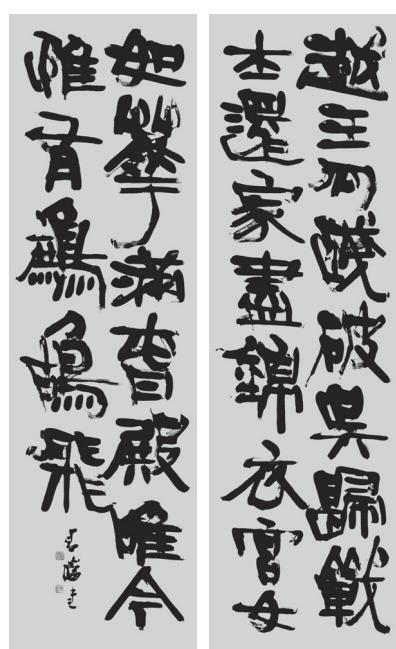
参与 奥山泰嶺



遺墨 中村素堂 先生



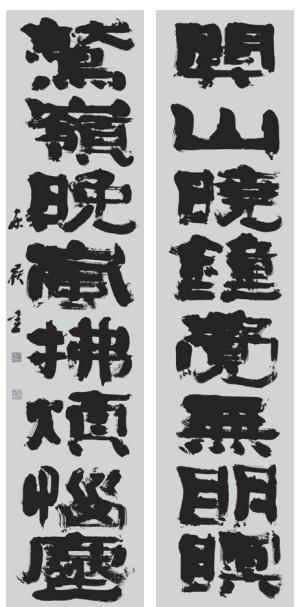
顧問 荒木大樹



顧問 中村青藍



参与 後藤鶴台





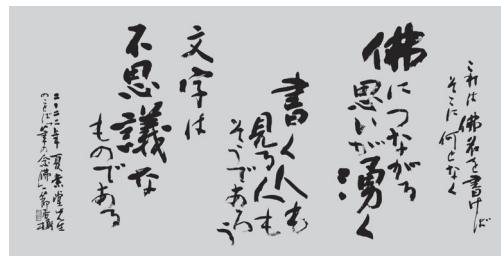
参与 中谷春径



参与 畫間欽堂



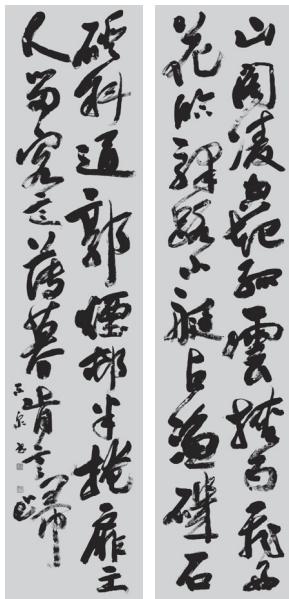
参与  
松本宜響



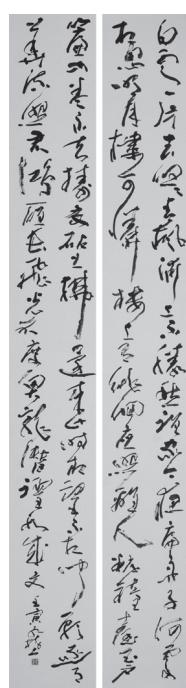
参与 若井香樹



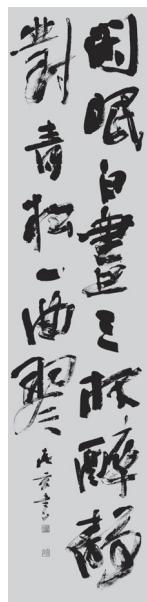
参事 柏木南城



参事 中村東泉



參事  
山根紅樹



参事 加茂泰玄



参事 中村大如



参事 二木秀蔭

副理事長 坪内雪山

浮雲終日示遊子  
久兀至三夜頻夢君  
情親見君意告歸常局促苦道來  
不易江湖多風波自禍恐失墜山門  
瑣白首苦負平生志財蓋帝京華  
斯人獨願賴孰云繩校將吾身反累  
千秋萬歲名廟寔可後事

林文英詩

理事長 光谷素仙

雪橫獨立山樹映山  
彌月微風拂一寒林

東光散清樾幽歡難  
邂逅此景安可忽

遊來山水之次為虛  
埃沒

劉波南園詩一首  
詩主同寅作正素堂

路逕東山閣出古寒雲門  
望江口邊趁寒日  
樓影孤高上青天  
萬木蕭疏一下有枯蓬  
搖曳二時寒鶯空傳音  
寒風急急驚飛鳥  
戰吟聲起北枝人  
那知高處有空都

劉波南園詩一首  
詩主同寅作正素堂

副理事長事務局長 根本泰邱



中村素堂記念賞 理事 鈴木蓮徑

方丈懷人出渺渺高情耽寂水鄉  
功名誰使連三捷身走何緣得兩全  
早歲歸休心共在他年相見話偏長  
只應未報君恩重清夢時到玉堂

卷之三

理事 飯野彩心

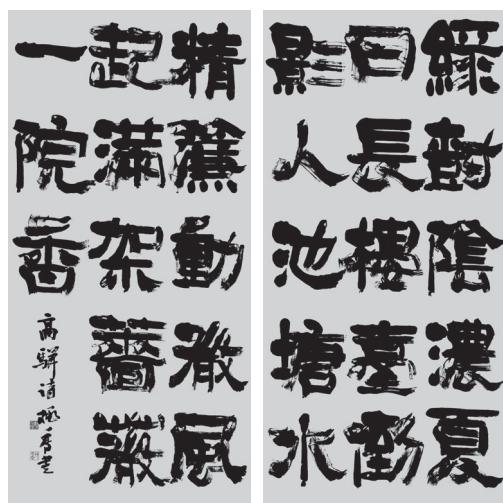


理事 今井泰篁

萬竹園毫筆未忘懷  
此處何如郭璞也  
因懷依舊賦詩來  
射鵠歌聲共酒闌  
霜果飄香啄馬瘦  
渴自躋上馬高歌把  
酒生火折照松明  
深坐火折照松明

理事 海野蒼秀

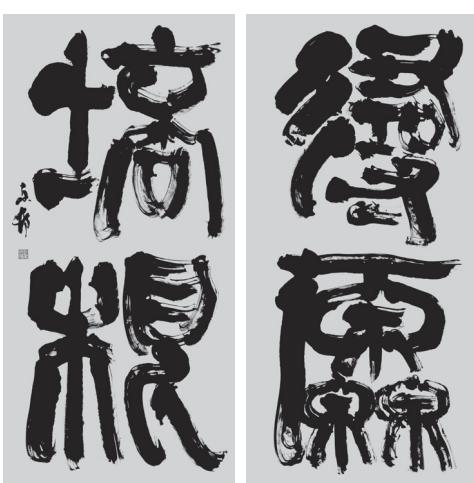
理事 半田桃香



理事 中村香柯



監事 長尾 泰邨



理事 浜瀬碧水

志夫聊發少年狂  
左擎卷錦帽貂裘  
右擎卷  
千騎卷

平岡為新傾城  
墮太守親  
射兩看子郎

東坡詞·赤壁賦書

理事 三浦看山

老當益壯，寧能無一時？

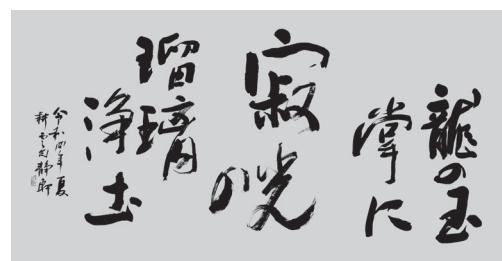
先生不知何許人也。亦不詳其姓字。宅邊有柳樹，因號焉。性靖少言，不慕榮利。好讀書，不求甚解。每有會意，便欣然忘食。性嗜家貧，不厭常饅。親舊和其如此，或置酒而招之，造飲輒盡期在必醉。既醉而退，曾不吝情，去留環堵，蕭然空敝。

懷氏之民歟。嘗天氏之民歟。湖閣明月夜，先生浩然興亡。

理事 後上菁華

老翁垂七十其實以童兒  
山水啼呼見猶喜笑隨  
群嬉累瓦塔獨立照盐池  
更波殘書讀渾如上學時

理事 高木素近



理事 永井靜軒

理事 高橋珠翠

學事窮愁，直轍移自淮，宦經塵土，時美壇曲，被羣芳，未復見他桂，往往道旁，多長葉，角，未得，色，廣，量，恩，賞，玉，雲，薄，日，莫，寒，種，豆，角，六，掌，盡，三，首，精，星，興，祖，孫，母，不，月，有，熱，陽，千，道，徒，徒，莫，不，長，多，寢，沾，氣，於，沾，山，多，借，住，候，金，連，桂，上，

推薦・会員推举 青木香路

芭蕉院深竹葉簾雪也未亦未甲子歸幸勿失  
清枝葉空傾垂龍游江遠鷗浮處泊桂無多利  
秋雖多梗多生無言瀧水守醒後酸東興印馬歌  
芭蕉院深竹葉簾雪也未亦未甲子歸幸勿失  
清枝葉空傾垂龍游江遠鷗浮處泊桂無多利  
秋雖多梗多生無言瀧水守醒後酸東興印馬歌

評議員 石原翠山

柳邊風輕花漫綠

裏一煙晚錦紅一朶

評議員 秋田谷岱空

我薄才少得意陽狂於夢寐如布大  
而疏於所遇則求病多時可進率千獻  
其發物多精不酒後歸邀月風  
揮袖忘朝夕悲來不作詩諱却  
天公未許我方桂香日更窮之久自若  
義氣自咬石木立三萬物以達  
陸游詩句

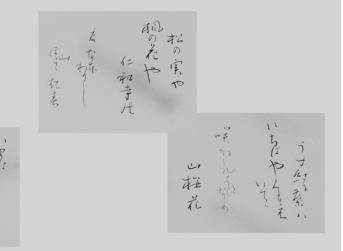
特別賞・審查会員推舉 浦野西萌

相馬大蛇不鍊橫腰不下威斗  
批其反可嗟爲入口蹄掣巨  
向無與同生共博世的金浦  
晴方如山之山之山之  
西萌之印

評議員 加地香泉

黑牛而食素六月也日出於東方未生蓮花未散落  
微雨潤沾那鐵爐昇起在明既滿半升紅射流青銅潮  
多昧事半初參擊騎連橫使吉昌史遜時局黑牛也  
黑牛也黃無朝暮無色黑雲煙秋暮了六月橘半移  
信者勸酒稱桂旗紅袖拂衣袖高擣玉頭上酒沉當  
雲熟歸而還在客為品新便不道其事誰知也  
西萌之印

推薦・会員推举 原田豊蘭



推薦・会員推举 北井杏怜

天假雲霞達羽旄春雲迷色雨雖霧生煙舊易  
憤飛霜玉佈尊尊禮全高我服之趙承少隱儒冠不  
惜嗟未齒太守叶荷半蹉跎即累何須笑二毛  
北井杏怜之印

推薦・会員推举 柿沼陽和

花暖六年飲松鳥自歸時復  
東紅色暮春猶自入寒烟  
阳和之印

推薦・会員推举 江原覺堂

曉半可深坐候頭替醉塵境是空幽冥境鐘聲逐漏  
玄關身處一室深涼禮佛猶憐君未有伴僧同入寒  
山秋曉因之煙煩惱仰天悲生方然  
江原覺堂之印

監事 飯野柳祐

古入黃攀川本逐青溪水隨山將萬轉趣  
深風裏岸澄上轔轔政心蒸已間清裡漢  
此請留盛石上重舟將已乘  
飯野柳祐之印

## 貞香書展

- ◆貞香書展は、会員展と公募展で構成されています。
- ◆公募部門には、年齢満15歳（高校生）以上の方どなたでも第1部・第2部どちらかに出品することができます。
- ◆作品の大きさで第1部・第2部に分かれ、それぞれに、漢字多字数部門（21文字以上）・漢字少字数部門（1～20文字）・仮名部門・詩文書部門があります。
- ◆作品の表装など取扱の全般を指定表具店に依頼しています。



## 貞香会総合書展

- ◆貞香会総合書展は、会員展と公募「書範展」で構成されています。
- ◆公募「書範展」にはどなたでも出品できます。◇一般部：高校生以上、1人1点 ◇教育部：幼児・小学生・中学生、1人1点 ◇半紙部：どなたでも何点でも
- ◆出品料は次の通りです。◇一般部：14,000円（大学生12,000円・高校生10,000円）※標準軸装代含む ◇教育部：3,000円（※仮巻ベタ貼り表装代含む）◇半紙部：800円（※裏打ち代含む）
- ◆'23貞香会総合書展の会期は2023年1月20日(金)～26日(木)まで。東京都美術館（ロビー階第3展示室・ギャラリーA）で開催します。
- ◆公募「書範展」作品の取扱全般は東京書範社書範展係が行います。

## 洗碑会

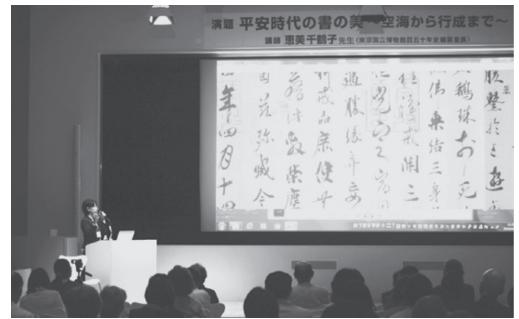
創設者・中村素堂生誕日の5月2日に東京小石川・伝通院にある中村素堂記念碑（「如是我聞」碑）前で催される先師の遺徳を讃える会です。全国から子弟・関係者が集まり、碑文を前に書作への思いを新たにします。記念碑は、開門時間中はいつでも拝観できますので、お近くにおいで際はお気軽にお立ち寄りください。

（伝通院 URL：<http://www.denzuin.or.jp>）



## 講演会

貞香会では貞香書展の会期中に講演会を開催しています。本年度は、東京国立博物館 学芸研究部 調査研究課東洋室研究員の六人部克典先生をお招きして、「中国書画コレクションの伝統と日本」という演題でご講演いただきます。



(一〇一九年撮影)

### 近年の講演会開催実績（※講師の先生方の所属等は、講演当時のものです。）

- 2019年 恵美千鶴子先生(東京国立博物館百五十年史編纂室長)「平安時代の書の美」
- 2018年 高橋利郎先生(大東文化大学教授)「近代日本の書」
- 2017年 笠嶋忠幸先生(出光美術館学芸課長)「古典鑑賞と書作」
- 2016年 鍋島稻子先生(台東区立書道博物館主任研究員)  
「中村不折と書道博物館コレクション」
- 2015年 大西克也先生(東京大学教授)「楚簡・秦簡より見た戦国時代の漢字について」
- 2014年 富田淳先生(東京国立博物館学芸研究部列品管理課長)  
「書譜と黄州寒食詩卷－台北故宮博物院の名跡から－」
- 2013年 名児耶明先生(五島美術館学芸部長・東京学芸大学非常勤講師)  
「仮名の散らし書きと日本美」
- 2012年 伊藤滋先生(東京学芸大学非常勤講師・岐阜女子大学特別客員教授)  
「日本に所蔵される名帖～碑法帖拓本の世界～」
- 2011年 島谷弘幸先生(東京国立博物館副館長)「書の変遷 その必然性と未来」
- 2010年 杉村邦彦先生(京都教育大学名誉教授・書論研究会会长)  
「多胡碑の朝鮮・中国への流傳とそれにかかわった人たち」
- 2009年 松丸道雄先生(東京大学名誉教授)  
「漢字研究の最前線－新石器時代から楷書成立まで」
- 2008年 松井茂陽先生(株式会社墨運堂顧問)「墨の不思議」

## 競書誌『書範』

◆貞香会の競書誌で毎月1日に発行されています。創設者中村素堂先生の随筆や、貞香会関係の展覧会情報などが掲載されています。ぜひご一読ください。

◆詳細については、東京書範社までお問い合わせください。

〒346-0005 埼玉県久喜市本町6-8-18

TEL : 0480-21-2443



# 貞香会100年のあゆみ

(西暦)

- 1923 貞香会創立  
1927 第1回「祭墨会」開催（以降1982年の第45回まで開催）  
1932 貞香書道会研究会開催（以降100回まで開催）  
1949 第1回貞香会書作展（小石川・傳通院）  
1955 貞香書道会研究会第100回記念展覧会（小石川・傳通院）  
1958 東方書道院に参画、新興書道展に参画  
1961 中村素堂還暦個展（銀座・松屋）  
1963 第1回臨書会開催（隔月開催）  
1970 中村素堂古稀個展（銀座・三越）  
1972 第1回一徽会書展（日本橋・柳屋画廊 第6回以降貞香会同人展に吸收合併）  
1972 事務局を佐藤中処方に置く  
1973 第8回貞香会書作展（上野の森美術館 第11回まで同会場にて開催）  
機関誌「祭墨」発刊（11号まで刊行）  
1975 貞香会同人展（第12回まで毎年開催）  
1976 第11回貞香会展（東京都美術館 以降第41回まで同会場にて毎年開催）  
1978 貞香会女流展（第7回まで開催）  
1979 貞香会新人展（第3回まで開催）  
1980 第1回貞香会訪中団（北京・洛陽・西安）  
1981 社中有志により東京書範社を創立。「書範」誌を発刊  
1982 第2回貞香会訪中団（山東省鄭道昭摩崖碑・泰山碑林・曲阜碑林）  
貞香会創立60周年記念祝賀会・第45回祭墨会（帝国ホテル）  
7月14日 中村素堂逝去  
1984 第1回書範社展（以降毎年開催）  
中村素堂遺墨展（銀座・和光ホール）  
『中村素堂遺墨集』刊行  
改組第36回毎日書道展（東京都美術館）に参画  
1985 中村素堂歌集『ふぢばかま』上・下刊行  
1987 第2回貞香会小品展（銀座・カトレアサロン 以降第20回まで同会場にて毎年開催）  
1988 中村素堂隨想集『筆間雑記』出版  
1991 貞香会展25回記念「貞香会訪華代表書作家展」（台湾国立歴史博物館）  
1993 貞香会講演会（大正大学）講師：中国甘肃省文物考古研究所・何双全先生  
演題「中国木簡発掘の現状」  
1994 第3回貞香会訪中団（北京・ウルムチ・トルファン・敦煌）  
1995 貞香会70周年・貞香会展30回記念展（東京都美術館）  
中村素堂記念碑建立（小石川・傳通院境内）  
貞香会研修会（山梨・大門碑林ほか）  
1996 中村素堂記念碑「洗碑会」開催（以後毎年開催）  
貞香会講演会（大正大学）講師：角井 博先生 演題「明清の書」  
1997 中国西安驪山公園に中村素堂書碑建立  
第4回訪中団（北京・西安・漢中・上海）  
1999 第34回貞香会展（東京都美術館）中村素堂誕辰一百周年記念「貞香会書法展」  
（中国北京市・中国美術館）  
第5回訪中団 中村素堂誕辰一百周年記念  
「貞香会書法展」報告展（銀座・カトレアサロン）  
2001 『書家 中村素堂の遺品』展 江戸東京博物館にて開催  
千葉県立美術館で千葉県書道協会展に中村素堂遺作展を併催  
2002 貞香会展を「貞香書展」に改名  
2003 貞香会80周年記念・第38回貞香書展（東京都美術館）  
2005 貞香書展第40回記念事業 第2回北京書法展（中国北京市・中国美術館）  
2007 '07 貞香会総合書展（東京都美術館 以降現在に至る）  
第42回貞香書展（国立新美術館 以降現在に至る）  
2008 赤平泰処 毎日書道顕彰書道部門受賞  
2013 貞香会創立90周年記念・第48回貞香書展（国立新美術館）  
2014 中村素堂33回忌法要（小石川・傳通院）  
2015 貞香会創立93年 第50回記念貞香書展開催（国立新美術館）  
2019 赤平泰処 第71回毎日書道展文部科学大臣賞受賞  
2022 貞香会創立100年記念第56回貞香書展（国立新美術館）

## 展覧会のご案内

令和4年(2022)

### ○第73回 毎日書道展(東京展)

会場：国立新美術館 会期：7月13日(水)～8月7日(日)

※毎週火曜は休館日。毎週木曜は、午後1時開会。

入場は閉会30分前まで

会場：東京都美術館 会期：7月18日(月)～7月24日(日)

※7月19日(火)は休館日。18日は正午開幕。入場は閉会30分前まで。

### ○第53回 墨光書展

会場：春日部市民会館 会期：10月6日(木)～10日(月) 10:00～18:00

### ○第36回 西蓮会書展

会場：銀座かねまつホール 会期：10月14日(金)～18日(火) 11:00～18:00

### ○第4回 素心会書展

会場：銀座画廊美術館8階 会期：11月22日(火)～27日(日) 10:00～18:00

令和5年(2023)

### ○'23貞香会総合書展 会員展・書範展

会場：東京都美術館 会期：1月20日(金)～1月26日(木)

書範展にはどなたでも出品できます。詳細は11頁をご覧ください。

---

本日は貞香会創立100年記念第56回貞香書展にご多用中にもかかわらずご光来賜りご懇情をいただき誠にありがとうございました。皆さまのお言葉を励みに会員一同書の道に精進してまいります。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところ、御礼とさせていただきます。

令和4年6月29日  
第56回貞香書展出品者一同